

### 新しい技術の紹介

#### 土着天敵（タバコカスミカメ）の地域増殖ハウス設置によるナスの総合的防除

J A豊橋茄子部会では、アザミウマ類の対策として数年前から土着天敵「タバコカスミカメ」を用いた防除に取り組んでおり、その採取及び増殖方法が課題となっています。そこで、国のグリーンな栽培体系への転換サポート事業を用いて、タバコカスミカメの地域増殖ハウスを設置し、その効果的な管理技術と天敵を活用した防除効果を検証しています。

現在、地域増殖ハウスには寄生植物クレオメが2,000株植えられており、7頭/枝のタバコカスミカメが増殖されています。令和4年9月30日から23名がタバコカスミカメを導入しており、産地への定着が期待されています。

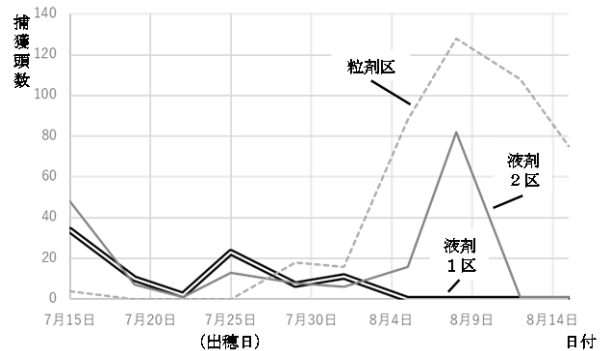


地域増殖ハウス内の様子

#### 水稻の減収要因となる「イネカメムシ」防除体系の検討

近年、稲作ではイネカメムシの被害による収量減少が大きな問題となっています。農業改良普及課ではイネカメムシに効果的な農薬の剤型や防除時期を明らかにするため、現地試験を行いました。

その結果、出穂期と出穂7日後の液剤による防除（液剤1区）が成虫・幼虫両世代の発生抑制に効果的であることがわかりました。



イネカメムシ捕獲頭数の推移

#### 紫外線照射によるバラうどんこ病の防除技術

バラの施設栽培において、うどんこ病は主要な病気の一つで、生育不良や品質低下を引き起こします。うどんこ病への対策は化学農薬の散布による防除が主流となっていますが、十分に防除できていないのが現状です。そこで、うどんこ病の発生を抑制する効果があるとされている紫外線(UV-B)蛍光灯を使用した現地試験に、本年から豊橋市と豊川市のバラ農家2戸が取り組んでいます。

本技術は、うどんこ病の防除だけでなく、化学農薬の低減も期待されています。

今後、現地試験の防除効果を検証し普及につなげていく計画です。



#### 中型獣侵入防止柵「楽らくくんライト」でハクビシンから果実を守れ！

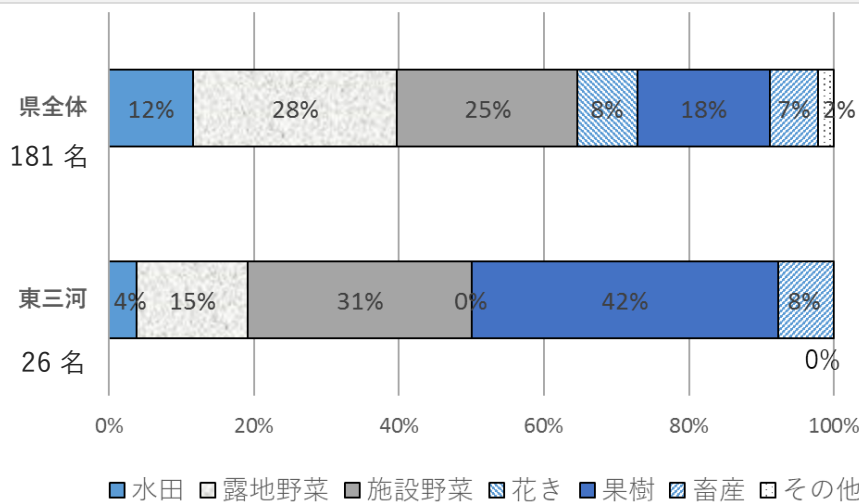
豊橋市北部の果樹産地では、ハクビシンなど中型獣による食害が問題となっています。そこで、令和3年度に埼玉県が開発した侵入防止柵「楽らくくんライト」の実証試験を20aのナシ園地で実施しました。その結果、被害果数が前年の300果程度に比べ5果と大きく減少しました。

今年度はさらなる導入推進を図るべく、講習会での周知や導入園地見学会を実施したところ、新たにブドウ生産者1名が本技術を導入しました。ブドウでも被害果数が減少しており、高い防除効果が確認できています。



ブドウ園に設置された侵入防止柵

## 令和4年度の新規就農者数



新規就農者の部門別割合

管内3市（豊橋市、豊川市、蒲郡市）の新規就農者は26名で県全体の14%を占めています。部門別で見ると、果樹の割合が多く42%を占めており、県全体と比較して割合が大きくなっています。

就農の経緯は、新規学卒が8%（県全体6%）、Uターン就農が50%（同40%）、新規参入が42%（同54%）です。県全体と比較してUターン就農の割合が大きいという特徴があります。

## 管内農業の話題

### フレッシュミズセミナーで楽しく学び、交流を広げよう！

農業改良普及課では、毎年、農業に携わる若手女性を対象に楽しく農業の基礎を学ぶセミナーを開催しています。

今年度は年3回の開催を計画しています。第1回は8月26日（金）に新規就農者向け「新農業経営者セミナー」と共催にて「土壌肥料研修」を開催しました。次回は10月20日（木）に「令和時代のお金の教室～農家の奥様編」を開催します。詳細は当課HPにも掲載しています。ご興味のある方は担当（担い手育成G・西山）までご連絡ください。一緒に仲間をつくり、積極的に経営参画を目指す皆様のご参加をお待ちしております。



第1回セミナーの様子

### つま菊生産者が赤色LEDによるアザミウマ類被害防止効果を検証

三河温室園芸組合の菊部では今年度、蒲郡市と蒲郡地区農業改良推進協議会の助成を受けて、赤色LEDを試験的に日中照射し、アザミウマ類の被害防止効果を検証しています。

定植用の穂を採る採穂ほ場に赤色LEDを導入して調査を行ってきたところ、導入ほ場では植物体上でのアザミウマ類が確認されず、食害もごく軽微に抑えられています。隣接する生産ほ場の被害と比べると差が明確であり、生産者らは効果があるのではと期待を覗かせています。



赤色LED導入ほ場の様子

### 第25回宝飯豊橋養豚青年研究会が4年ぶりに活動再開

宝飯豊橋養豚青年研究会は、養豚技術の向上と経営改善を目的に豊橋市と豊川市の養豚農家12名が参加する組織です。豚熱やコロナ禍の影響で活動が休止されていましたが、4年ぶりに活動が再開されました。

8月には会員と関係者22名出席のもと通常総会が盛大に開催され、臭気対策の研修会も行われました。養豚経営に欠かせない臭気対策がテーマということで、会員は関心をもって聞いている様子でした。10月には地元の豚肉のおいしさを消費者にPRするため、豊橋まつり農産物博覧会で焼肉やソーセージの販売を予定しています。



臭気対策研修会の様子